

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北海道新幹線建設局入札監視委員会（第21回定例会議）審議概要

開催日及び場所		令和7年1月31日（金） 北海道新幹線建設局会議室	
委員		原 琢磨（弁護士） 高野 伸栄（大学院教授） 清平 秀幸（公認会計士）	
審議対象期間		令和6年4月1日～令和6年9月30日	
工事	抽出案件	件数 3件	(備考)
	一般競争入札方式 (政府調達協定適用対象)	北海道新幹線、渡島南軌道敷設	
	一般競争入札方式 (政府調達協定適用対象以外)	北海道新幹線、渡島レール溶接	
	随意契約方式	青函トンネル、先進導坑・作業坑補修 R6	
役務	抽出案件	件数 1件	
	簡易公募型競争入札方式に 準じた方式	北海道新幹線、八雲地区トンネル覆工詳細設計他	
物品等	抽出案件	件数 1件	
	一般競争入札方式	北海道新幹線、工事中機械装置（特種車）保守	
高落札率契約	抽出案件	件数 1件	
	簡易公募型競争入札方式に 準じた方式	北海道新幹線、国有林野等協議資料作成他 R6	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		意見・質問	回答
		別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		なし	

別紙（工事）

	意見・質問	回答
1	一般競争入札方式（政府調達協定適用対象） 「北海道新幹線、渡島南軌道敷設」 ① 入札参加者が1者のみだが、参加者が少ない理由について考えられる理由は。 ② 施工に用いる機械は機構から貸与することだが、この工事は貸与される機械を使わなければ施工できないのか。 ③ 工程管理と品質管理に係る技術的所見の評価が0点となっているが、業者の適格性に問題はないのか。 問題ない場合も、これでは簡易Ⅱ型で技術的所見の提出を求める意味自体がなくなってしまうので、検討も必要ではないか。	① 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の軌道敷設工事では最初の発注であり、本件には技術開発に関わる内容を含んでいたため、応札者が限られたのではないかと分析している。なお、本件の後に発注した軌道敷設工事では、複数者が参加している。 ② 恐らく難しいだろうと考えて貸与することとしているが、他の施工方法を否定している訳ではない。 ③ 標準的な技術的所見であったため加点がなかったものであり、業者の適格性は問題ないと考えている。 今後の発注では技術的所見の求め方も検討していきたい。
2	一般競争入札方式（政府調達協定適用対象以外） 「北海道新幹線、渡島レール溶接」 ① 当初公告の際の取り止め理由「競争参加資格を満たしていなかった」とは具体的にどのようなことか。 ② 再公告にあたり変更した点はあるか。 ③ トンネル工事等の遅れによって本工事の工期が延長される可能性はあるのか。	① 参加申請があったが、配置予定技術者の施工経験について、要件を満たしていなかったものである。 ② 配置予定技術者の施工経験に係る要件を緩和した。 ③ 土木工事の影響等により、工期が延長される可能性は考えられる。受注者には可能な限り情報提供を行い、負担とならないよう柔軟な対応を取っていく。

3	④ 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）のレール溶接工事は2件に分けて発注されているが、さらに細かく分けて発注をすれば参加者が増えるようなことはないのか。 随意契約方式 「青函トンネル、先進導坑・作業坑補修 R6」 ① 当初の競争入札が不落となったため随意契約に移行しているが、令和6年度中に施工しなければならない緊急性があったということか。 ② 随意契約にあたっては、「当初公告の入札参加者、設計図書ダウンロード者、過去の受注者及び渡島地方に本支店を有する NATM トンネルの施工実績がある機構有資格者全てに受注意思の確認を行った」とあるが、何者に受注意思の確認を行ったのか。 ③ 競争入札での不落時も、その後の随意契約の際も、予定価格と入札金額に乖離のある者がいるが、どの部分に乖離があったのか。	④ 本工事を施工可能な業者自体が少なく、分割すると入札不調のリスクが高まる恐れがある。 ① 維持管理に支障をきたす恐れのある盤ぶくれ等が発生しており、早急に施工しなければならない状況であったため、随意契約へ移行している。 ② 28 者に確認を行った。 ③ 競争入札の際は、初回入札時に提出を求めている入札金額内訳書の内容から、経費部分に乖離があったことを確認している。随意契約の際は、内訳書の提出を求めていないため不明である。
---	--	---

別紙（役務）

	意見・質問	回答
1	簡易公募型競争入札方式に準じた方式 「北海道新幹線、八雲地区トンネル覆工詳細設計他」 ① 予定価格と入札金額に乖離のある者がいるが、どの部分に乖離があったのか。 ② 入札参加者が2者と少ない理由はどう分析しているか。	① 入札時の内訳書から、予定価格を超過している者は諸経費部分に乖離があったことを確認している。 ② 技術者の配置や手持ち業務の状況により、入札参加者が少なかったのではないかと考えている。

別紙（物品等）

	意見・質問	回答
1	一般競争入札方式（価格競争） 「北海道新幹線、工事用機械装置（特種車）保守」 ① 本件の業務内容には、九州から北海道までの特種車の運送が含まれているが、陸路で行うのか。 ② 当初公告の際の取り止め理由「応札者がいなかった」とは具体的にどういうことか。 ③ 過去においても同様の業務を発注していると思うが、落札者はいずれも同じ者か。また落札率は過去も同程度か。 ④ 入札参加者が1者のみだが、考えられる理由は。	① 運送方法について指定はしていない。 ② 1者の参加はあったが、期限までに入札がなされなかったものである。取り止め後に当該者へヒアリングしたところ、入札期限を誤認したためとのことであった。 ③ 過去も同じ者が落札しており、落札率も同程度である。 ④ 使用している特種車について、外国の製造元から部品供給を受けられる者が、国内では現状この者のみであるためと考えている。

別紙（高落札率契約）

	意見・質問	回答
1	簡易公募型競争入札方式に準じた方式 「北海道新幹線、国有林野等協議資料作成他R6」 ① 平成30年の前回発注時も1者応札だったということだが、今回の発注にあたり変更した点はあるか。 ② それでも今回も入札参加者が1者のみだが、考えられる理由は。 ③ 同種役務の要件を、北海道内での業務	① 地理的条件の要件を外したり、同種役務の対象を広げるなど、参加資格要件の緩和を行った。 ② 特殊な作業であり、業務経験のある者自体が少ないものと考えている。また今回の入札後に、設計図書をダウンロードしたが不参加だった者にヒアリングをおこなったところ、作業員の配置が困難などの理由であった。 ③ 本件には道有林に関する業務が含まれること

	に限定している理由は。	を考慮したためである。
	④ 高落札率となった理由についてどう分析しているか。	④ 積算については見積参考資料等で全て公表しているため、予定価格に近い金額が算出可能であることに加えて、過去の入札状況から参加者数が少ないと入札参加者が判断したことで、競争性が働きづらかったものと推測している。

別紙（その他）

	意見・質問	回答
1	工事、役務、物品等の全体審議 「低入札価格に関する調査報告書」 ① 水文調査は10者前後の応札があり、競争性は確保されているものと思うが、低入札が続いていることについては問題意識を持っている。低入札の要因についてはどう考えているか。 ② 個別案件については、調査のうえ問題ないということだろうが、低入札での契約を続けていることが妥当なのかについては、予定価格の設定のも含め、業界内での技術者の育成や品確法の観点など、大きな視点で考えていかなければならないものと思う。	① 水文調査は過去からはほぼ全ての案件で低入札となっているが、入札に参加した全ての者が低入札の金額で入札しているという訳ではない。同じ地域での継続的な案件などは、仕事の継続性や新規案件よりもコストを抑えられることなどから同じ者が落札していることも多くなっており、そのような受注意欲の高い者は低入札でも受注したいと考えているのではないかと分析している。 ② 個別の低入札調査においては、利益を確保できているかなどを毎回確認しているが、長期的な視点で見ると、落札率が低いことは必ずしも正しいだけではないと思うので、その辺りは検討していく必要があると考えている。
2	高落札率契約の全体審議 なし	
3	一定規模以上の取引関係を有する法人との契約の全体審議 なし	
4	その他 なし	